

1. 歯科医師として必要な臨床能力の確保について

(1) 臨床実習終了時のOSCEなど臨床能力の評価に関する取組について

現状	課題	今後の改善策

(2) 臨床実習に関する体系的な到達目標の設定や診療参加型臨床実習の充実に関する取組について

現状	課題	今後の改善策

(3) 臨床実習に関する患者の同意を得るための取組や学外歯科医療機関の活用に関する取組について

現状	課題	今後の改善策

2. 優れた歯科医師を養成する体系的な歯学教育の実施について

第1回ヒアリング資料(様式1-①)

(1) 基礎と臨床の有機的な連携が図られた順次性のある体系的な教育課程の編成に関する取組(専門の教員の配置を含む)について

現状	課題	今後の改善策

(2) 成績評価や進級判定の厳格化に関する取組について

現状	課題	今後の改善策

(3) シミュレータやスキルスラボ、模型実習、相互実習などを効果的に充実させるための取組について

現状	課題	今後の改善策

3. 歯科医師の社会的需要を見据えた優れた入学者の確保について

第1回ヒアリング資料(様式1-①)

(1) アドミッション・ポリシーや入学志願者数、合格者数等の入試関連情報の公開に関する取組について

現状	課題	今後の改善策

(2) 入学志願者の適性、目的意識やコミュニケーション能力等を見極める入試の工夫に関する取組について

現状	課題	今後の改善策

(3) 歯科医師の社会的需要を見据え質の高い入学者を確保するための入学定員の見直しに関する取組について

現状	課題	今後の改善策

4. 未来の歯科医療を拓く研究者の養成について

第1回ヒアリング資料(様式1-①)

(1) 研究室配属など学部教育のあらゆる機会を通じた研究マインドの育成に関する取組について

現状	課題	今後の改善策

(2) 研究者・歯科医師など人材養成の目的に応じ、組織的・体系的で魅力ある大学院教育の提供に関する取組について

現状	課題	今後の改善策

大学名 _____

1. 臨床実習実施中の学生数及び臨床研修医数の推移

年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
(1) 4年次臨床実習学生数					
(2) 5年次臨床実習学生数					
(3) 6年次臨床実習学生数					
(4) 臨床研修歯科医数					
(5) 後期臨床研修歯科医数					

2. 大学附属の病院、有床診療所、無床診療所の年間患者数の推移

注) 黄色網掛けセルについては、自動計算のため入力しないこと

平成20年度の患者数は、平成20年12月末日までの累計を記載

本院の「医科外来患者数」、「医科入院患者数」欄は、本院に医科がある場合必ず記載

分院、有床診療所、無床診療所について、それぞれ複数ある得場合は、合算の上記載

年度		平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度		
本院	本院患者数(外来+入院)							
	外来	本院外来患者数(歯科+医科)						
		歯科	歯科外来患者数					
			うち	臨床実習協力科外来患者数				
				臨床研修協力科外来患者数				
	医科	医科外来患者数						
	入院	本院入院患者数(歯科+医科)						
		内	歯科入院患者数					
			医科入院患者数					
	分院	分院の施設数						
分院患者数(外来+入院)								
外来		分院外来患者数(歯科+医科)						
		歯科	歯科外来患者数					
			うち	臨床実習協力科外来患者数				
				臨床研修協力科外来患者数				
医科		医科外来患者数						
入院		分院入院患者数(歯科+医科)						
		内	歯科入院患者数					
			医科入院患者数					
有床診療所	有床診療所の施設数							
	有床診療所の患者数(外来+入院)							
	外来	歯科外来患者数						
		うち	臨床実習協力科外来患者数					
			臨床研修協力科外来患者数					
				医科	医科外来患者数			
	入院	有床診療所入院患者数						
		内	歯科入院患者数					
医科入院患者数								
無床診療所	無床診療所の施設数							
	無床診療所患者数(歯科+医科)							
	外来	歯科外来患者数						
		うち	臨床実習協力科外来患者数					
			臨床研修協力科外来患者数					
医科				医科外来患者数				

大学名 _____

3. 臨床実習について

注)各年次の在籍者について記載願います。		4年次 (平成18年度)		5年次 (平成19年度)		6年次 (平成20年度)	
◆人数を記載願います。							【単位:人】
(1) 在籍者数(休学者を除く、各年度5月1日現在)							
(2) 平成21年3月卒業予定者数(平成21年3月1日現在)		/		/			
◆該当する欄に○を付してください。							
(3) 診療参加型臨床実習を行っている							
(4) 診療参加型臨床実習を行っていない							
【単位:日】							
◆各年次における実習の必修と選択の平均日数を記載願います。		必修	選択	必修	選択	必修	選択
(5) 一人あたりの通算臨床実習日数(平均)							
(6) (5)のうち一人あたりの診療参加型臨床実習(自験)日数(平均)							
(7) (5)のうち一人あたりの見学型臨床実習日数(平均)							
(8) (5)のうち一人あたりの大学外の臨床実習日数(平均)							
(9) 平成21年3月1日現在の6年次在籍者に関する4年次から6年次までの診療参加型臨床実習(自験)の状況							
◆下表①、②、③について、各々該当する記号、学生数(実数)、症例総数を記載願います。							
水準1		①自験を行うことが卒業の必須要件となっているか 必須でない:0 必須である:1		②自験を行った学生数(実数) 【単位:人】		③学生が自験を行った症例の総数 【単位:件】	
i 問診							
ii 診療録の作成							
iii レジン充填・インレー修復							
iv 抜髄法・感染根管治療							
v プラークコントロール指導							
vi スケーリング							
vii ルートプレーニング							
viii 冠橋義歯							
ix 部分床義歯・全部床義歯							
x 抜歯 永久歯							

注)自験：主要な部分を学生が実施したものをいう。充填やスケーリング時に研磨のみを行った場合は自験に含まれない。見学、介助は自験に含まれない。

大学名

4. 平成20年度の臨床実習の評価について

◆実施の有無について、該当する欄に○を付してください。	有り	無し
臨床実習に関するシラバスの作成		
臨床実習に関する科目の到達目標の明確化		
臨床実習の成績評価基準の策定		
臨床実習の透明で適正な評価のための取り組み		
臨床実習終了時のOSCE		

5. 平成20年度の共用試験について

◆平成20年度の実施状況について、該当する欄に○を付してください。	はい	いいえ
CBTの合格基準を策定している		
CBTの合格が臨床実習開始の必須条件である		
CBTの合格が進級の必須条件である		
OSCEの合格基準を策定している		
OSCEの合格が臨床実習開始の必須条件である		
OSCEの合格が進級の必須条件である		

6. 臨床基礎実習について

年次	模型実習		シミュレーション実習		相互実習	
	実施	延べ日数	実施	延べ日数	実施	延べ日数
1年次						
2年次						
3年次						
4年次						
5年次						
6年次						

大学名

7. 卒前教育における歯学教育担当教員の配置状況

注)「歯学教育担当教員」とは、教育センターや教育学講座などに所属し、主として卒前の歯学教育に関する教育・研究に携わる者とする。

【単位:人】

区 分		平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
専任教員	教授					
	准教授・助教授					
	講師					
	助教・助手					
	その他					
兼任教員	教授					
	准教授・助教授					
	講師					
	助教・助手					
	その他					

8. 自己点検・評価における歯学教育の質の評価の状況

◆該当欄に○を付してください。また、「実施」欄に○を付した場合は、「結果」欄に自己評価・点検の結果を具体的に記載願います。

区分	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実施					
なし					
結果					

大学名

9. 平成21年4月入学者の選抜について(編入学者の選抜以外)

(1) 下表に人数を記載願います。(該当がない場合は「-」(ハイフン)を記入してください)

入学試験の種類	大学の学力試験の有無※2	①入学定員	②募集定員	③志願者数	④受験者数	⑤合格者数	⑥入学者数
センター試験利用の一般入試	あり						
	なし						
センター試験利用以外の一般入試	あり						
	なし						
推薦入試	あり						
	なし						
AO入試	あり						
	なし						
その他の入試	あり						
	なし						
総数							

(2) アドミッションポリシー(入学受入方針)の内容を下欄に記載願います。

注)平成20年12月の中央教育審議会答申「学士課程教育の構築に向けて」は、現状の傾向として、アドミッションポリシーが「高校生に対して習得を求める内容・水準を具体的に示すものとなっていない。」との認識を示していることに留意しつつ、貴大学の現行の内容を記載願います。

【アドミッションポリシーの内容】

10. 平成20年4月～平成21年3月までに実施した編入学試験

(1) 下表に人数を記載願います。(該当がない場合は「-」(ハイフン)を記入してください)

編入学年次	大学の学力試験の有無※2	①入学定員	②募集定員	③志願者数	④受験者数	⑤合格者数	⑥入学者数
2年次編入	あり						
	なし						
3年次編入	あり						
	なし						
4年次編入	あり						
	なし						
5年次編入	あり						
	なし						
6年次編入	あり						
	なし						
総数							

大学名

11. 進級の判定基準について

◆下記①～④の項目について、進級の要件として必須である場合には該当欄に○を付してください。
「その他の基準」欄にはその内容を記載願います。
また、項目⑤については、仮進級を実施している場合に○を付してください。

区 分	① 出席日数	② 単 位	③ 進級試験	④ 進級判定 委員会	その他の基準	⑤ 仮進級 あり
2年次進級						
3年次進級						
4年次進級						
5年次進級						
6年次進級						

◆(1)、(2)について、該当欄に○を付してください。また、(2)において、「ア 公開されている」に○を付した場合、「公開方法」について具体的に記載願います。

(1)進級の判定基準は明文化されているか	ア 明文化されている	
	イ 明文化されていない	
(2)進級の判定基準は学生に公開されているか	ア 公開されている	
	イ 公開されていない	

【公開方法】 ※(2)において、「ア 公開されている」に○を付した場合に記載

12. 卒業の判定基準について

◆下記①～⑥の項目について、卒業の要件として必須である場合には該当欄に○を付してください。
「その他の基準」欄にはその内容を記載願います。

区 分	① 出席日数	② 単 位	③ 実習単位	④ 卒業論文	⑤ 卒業試験	⑥ 卒業判定 委員会	その他の基準
卒業							

◆(1)、(2)について、該当欄に○を付してください。また、(2)において、「ア 公開されている」に○を付した場合、「公開方法」について具体的に記載願います。

(1)卒業の判定基準は明文化されているか	ア 明文化されている	
	イ 明文化されていない	
(2)卒業の判定基準は学生に公開されているか	ア 公開されている	
	イ 公開されていない	

【公開方法】 ※(2)において、「ア 公開されている」に○を付した場合に記載

大学名

13. 平成19年度(平成20年3月)卒業生数等及び第101回国家試験受験状況

注) 黄色網掛け部分は自動計算となっているため入力しないこと
 在籍者数には休学者数を含まず、平成20年3月1日現在の人数を記載

区分	総数				編入以外の者				編入者															
	在籍者数	卒業生数	国家試験		在籍者数	卒業生数	国家試験		2年次編入者				3年次編入者				その他の編入者							
			新卒受験者数	新卒合格者数			在籍者数	卒業生数	新卒受験者数	新卒合格者数	在籍者数	卒業生数	新卒受験者数	新卒合格者数	在籍者数	卒業生数	新卒受験者数	新卒合格者数						
計																								
修業年限 超過のない者																								
修業年限 1年超過																								
修業年限 2年超過																								
修業年限 3年超過																								
修業年限 4年超過																								
修業年限 5年超過																								
修業年限 6年以上超過																								
備考																								

(参考)

●総数計欄の計算式

在籍者数 : $F13=J13+N13+R13+V13=F14+F15+F16+F17+F18+F19+F20$ 卒業生数 : $G13=K13+O13+S13+W13=G14+G15+G16+G17+G18+G19+G20$ 新卒受験者数 : $H13=L13+P13+T13+X13=H14+H15+H16+H17+H18+H19+H20$ 新卒合格者数 : $I13=M13+Q13+U13+Y13=I14+I15+I16+I17+I18+I19+I20$

●平成19年度(平成20年3月)卒業生の編入学年次と最低修業年限

編入年次(編入年度)	修業年限超過のない者 最低修業年限
2年次編入(平成14年度編入学者)	5年
3年次編入(平成15年度編入学者)	4年
4年次編入(平成16年度編入学者)	3年
5年次編入(平成17年度編入学者)	2年
6年次編入(平成18年度編入学者)	1年

大学名 _____

14. 入学試験(編入学試験を除く)の合格者数等推移

【単位:人】

区 分	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
募集定員						/
志願者数						
受験者数						
合格者数(繰り上げを含まない)						
繰り上げ合格者数						
入学者数						
志願者/合格者数						
◆各年度毎の二段階選抜実施の有無について、下欄に「有り」または「無し」を記載願います。						
二段階選抜実施の有無						

注)二段階選抜:一次試験(センター試験含む)の点数が大学の設定した基準点に満たない志願者を二次試験の受験対象者から除外しふるいにかけること。一般的に、第一次試験において大学の募集人員に対する志願者倍率が大学の設定する予定倍率を超えた場合に行われる。

15. 入学試験(編入学試験を除く)および歯科医師国家試験関連の情報公開

◆下表の(1)~(16)の項目のうち、情報を公開しているものについては、該当欄に○を付してください。

区 分	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
(1) 募集定員					
(2) 志願者数					
(3) 受験者数					
(4) 合格者数 (繰り上げを含まない)					
(5) 繰り上げ合格者数					
(6) 繰り上げ合格者を含む 合格者総数					
(7) 入学者数					
(8) 受験者/合格者数 (繰り上げを含まない)					
(9) 受験者/繰り上げ合格者を 含む合格者総数					
(10) 志願者/合格者数 (繰り上げを含まない)					
(11) 志願者/合格者総数					
(12) 6年次在籍者数					
(13) 卒業者数					
(14) 歯科医師国家試験新卒受験者数					
(15) 歯科医師国家試験新卒合格者数					
(16) 歯科医師国家試験新卒合格率					

16. 入学試験(編入学試験を除く)における面接の実施状況

◆各年度の(1)~(5)について、面接を実施している試験区分欄に、1人あたりの平均的な面接時間(単位:分)を記載願います。 【単位:分】

区 分	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
(1) センター試験利用の一般入試						
(2) センター試験利用以外の一般入試						
(3) 推薦入試						
(4) AO入試						
(5) 上記以外の入試						

◆平成20年9月~平成21年3月の面接方法について、下表に記載願います。

(6) 面接担当者の職種(歯科医師、歯科衛生士、事務職、医師、看護師など)	
(7) 面接担当者の人数(単独または複数(1グループの人数))	人
(8) 面接をうける受験生数(単独または複数(1グループの人数))	人
◆(9)、(10)を実施している場合は○を付してください。	
(9) 面接を受験した者全員に神経科・精神科医師の面接を実施	
(10) 面接を受験した者のうち、(1)~(5)の面接において必要を判断された者について、神経科・精神科医師の面接を実施	

【具体的な面接方法】

大学名 _____

16. 最低修業年限超過別卒業者と新卒者の国家試験受験状況

(1) 卒業者の修業年限超過状況と歯科医師国家試験新卒受験者数、新卒合格者数の推移を下表に記載願います。編入学者については、右欄に()書き内数にて記載願います。

注) 編入学者の最低修業年数については、2年次編入学者は5年、3年次編入学者は4年、4年次編入学者は3年、5年次編入学者は2年、6年次編入学者は1年とすること。

歯科医師国家試験	平成13年 第94回	平成14年 第95回	平成15年 第96回	平成16年 第97回	平成17年 第98回	平成18年 第99回	平成19年 第100回	平成20年 第101回
6年前の入学者								
最低修業年限卒業者								
うち歯科医師国家試験受験者								
うち歯科医師国家試験合格者								
1年超過								
うち歯科医師国家試験受験者								
うち歯科医師国家試験合格者								
2年超過								
うち歯科医師国家試験受験者								
うち歯科医師国家試験合格者								
3年超過								
うち歯科医師国家試験受験者								
うち歯科医師国家試験合格者								
4年超過								
うち歯科医師国家試験受験者								
うち歯科医師国家試験合格者								
5年超過								
うち歯科医師国家試験受験者								
うち歯科医師国家試験合格者								
6年以上超過								
うち歯科医師国家試験受験者								
うち歯科医師国家試験合格者								

(2) 貴学における卒業者の修業年限超過状況、歯科医師国家試験受験者と合格者数の状況について、右記の該当する項目に○を付してください。

ア 特に問題はない

イ 多少問題がある

ウ 大いに問題がある

(3) 上記(2)において、「イ」または「ウ」と回答された場合、問題となる状況を招いた原因について、下欄に具体的に記載願います。

--

大学名: _____

3. 入学者選抜の状況（編入学生を除く）

	H16	H17	H18	H19	H20	H21
入学定員 A						
志願者数 B						
受験者数 C						
繰り上げ合格者を含む合格者数 D						
志願倍率 B/A	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
競争倍率 C/D	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

4. 定員充足率

	H20	H21
定員充足率	#DIV/0!	#DIV/0!

5. 留年の状況（平成21年3月の6年次生の状況）

入学定員 A	6年次在籍者数 B	卒業者数 C	修業年限超過の無い卒業者数 D	B/A	C/A	D/A
				#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

（参考）在籍者数に占める留年・休学等に該当のある学生数の状況

在籍者数 A	留年・休学等に該当のある学生数 B						B/A
	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	
0							#DIV/0!

6. 国家試験合格率の状況

	100回 (H19)	101回 (H20)	102回 (H21)	平均
合格率（総数）				
新卒合格率				

（参考）入学定員に占める新卒合格率の状況

新卒合格率			

7. 臨床実習の状況 一人あたりの臨床実習日数（平均）必修のみ

	合計	見学型	参加型	大学外
4年次・H18	0.0			
5年次・H19	0.0			
6年次・H20	0.0			
合計	0.0			

8. 年間外来患者数、年間入院患者数と入学定員

	H16	H17	H18	H19	H20	平均
年間外来患者数 A						
年間入院患者数 B						
入学定員 C						
A / C	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
B / C	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

※平成20年度は20年12月末日までの累計となっておりますので、年間の人数に変更ください。

注：私立大学については、募集人員

注：下段については、全大学の平均値

注：（ ）は順位